参考資料

薬剤師のキャリアパスに関する懇談会
開催要綱

令和８年 11 月

１　会議の趣旨

医療・社会構造の変化に伴い、薬剤師には従来の調剤中心の対物業務から、患者本位の対人業務への転換が求められている。また、チーム医療や地域包括ケアシステムにおいて主体的に関与する役割が期待されている。

さらに、医薬品の高度化や個別化医療の進展等により、薬剤師に求められる専門性は拡大しており、医療機関・薬局のみならず、創薬、教育、研究、行政等において多様な役割を担うことが期待されている。

一方で、薬剤師のキャリアパスの全体像は十分に整理・共有されておらず、人材の偏在やミスマッチといった課題が指摘されている。

これらの課題に対応し、薬剤師の多様なキャリアのあり方や一体的な養成体系について検討を行うため、「薬剤師のキャリアパスに関する懇談会」（以下「本懇談会」という。）を開催する。

２　検討事項

（１）薬剤師のキャリアパスの全体像の整理
（２）医療、創薬等を含む多様なキャリアに対応した専門性のあり方及び、卒前・卒後・生涯研鑽を通じた一体的な養成体系の構築
（３）持続可能な医療・社会に貢献する薬剤師教育・研修プログラムのあり方
（４）その他必要な事項

３　構成

（１）本懇談会は、別紙の構成員により構成する。
（２）本懇談会には座長を置く。
（３）本懇談会は、必要に応じ、関係者又は有識者を参考人として招致することができる。

４　運営

（１）本懇談会は、厚生労働省医薬局長が構成員の参集を求めて開催する。
（２）本懇談会は、原則として公開するとともに議事録を作成し、公表する。
（３）事務局は厚生労働省医薬局総務課において行う。
（４）その他必要な事項は懇談会において定める。
（５）本懇談会の下に、ワーキンググループを置くことができる。

（別紙）

薬剤師のキャリアパスに関する懇談会
構成員名簿

石井　伊都子	日本薬学会　会頭
岩月　進	公益社団法人　日本薬剤師会　会長
浦野　泰照	東京大学大学院薬学系研究科　薬学部長
小比賀　聡	大阪大学大学院薬学研究科　薬学部長
近藤　直樹	国立がん研究センター東病院　薬剤部長
齋藤　嘉朗	国立医薬品食品衛生研究所　所長
崔　吉道	日本医療薬学会　会頭
鈴木　洋史	独立行政法人　医薬品医療機器総合機構　理事
○髙倉　喜信	一般社団法人　日本薬系学会連合　会長
武田　泰生	一般社団法人　日本病院薬剤師会　会長
平田　收正	日本薬学教育学会　理事長
◎三澤　日出巳	慶應義塾大学薬学部　教授
安原　眞人	公益社団法人　薬剤師認定制度認証機構　代表理事
矢守　隆夫	公益財団法人　日本薬剤師研修センター　理事長

（五十音順：敬称略　◎は座長、○は座長代理）

オブザーバー：文部科学省高等教育局医学教育課